

2023 年度
動物用医療機器市場調査報告書

一般社団法人 日本画像医療システム工業会
法規・安全部会 法規委員会
動物医療機器専門委員会

はじめに

一般社団法人 日本画像医療システム工業会、法規・安全部会 法規委員会、動物医療機器専門委員会は活動の一環として、定期的に第三者機関に委託し、動物用医療機器の市場動向の調査を行ってまいりました。この度、2023年度(令和5年度)に実施いたしました調査を報告書として取り纏めましたので、報告いたします。

本報告は、動物診療施設で使用される主要なモダリティに対し、動物専用医療機器及び人用医療機器の使用実態、新品／中古医療機器の占める割合など実状について調査しています。

今回も前回同様に、調査用語の定義を明確にした上で、診療施設への販売方法（メーカー直販・ディーラー販売）の割合や、新たなトピックスとして、在宅・往診ポータブル市場、読影サービス、検診ニーズなど、より実状に沿うよう調査いたしました。また、施設別（一次診療／二次診療）のマーケット規模を参考資料として記載しました。

2022年度の飼育動物診療施設売医療機器のマーケット規模は、新品・中古の合計で、205億800万円で対前年比106.8%となっています。2020年以降のコロナ禍による売上減少からの反動、動物病院の新規開業が増加しているなどの要因のほか、コロナ禍を機に新たにペットを飼う人が増加しているなどの傾向があり、動物病院の需要も高まっています。また、ペットの高齢化により病気が多様化していることで、従来からの動物病院でも、新規の医療機器購入に踏み切る動きもあり、市場が拡大しています。2023年度は、対前年比102.9%と拡大が続く見込みです。

主要なペットである犬、猫の飼育頭数はほぼ横ばいと報じられていますが、小動物診療施設数は緩やかな増加傾向が続いています。ペットの高齢化への対応、日常の健康管理など、動物用医療機器は重要な役割を担っていくと考えられます。

目次

1. 飼育動物診療施設内医療機器マーケット規模推移	1
(a) 新品医療機器マーケット規模推移	1
(b) 中古医療機器マーケット規模推移	2
(c) TOTAL(新品+中古)マーケット規模推移	3
2. 飼育動物診療施設内医療機器マーケット/モダリティ別市場規模推移	8
(a) モダリティ別新品医療機器マーケット規模推移(動物用+人用)	8
(b) モダリティ別中古医療機器マーケット規模推移(動物用+人用)	10
(c) モダリティ別TOTAL(新品+中古)マーケット規模推移(動物用+人用)	12
(d) その他トピックス	17
① 在宅並びに往診用ポータブル市場	17
② パッケージ販売の傾向	18
3. 飼育動物診療施設内医療機器マーケットにおけるモダリティ別トレンド	20
4. 飼育動物診療施設ドクターから見た医療機器購入の意識およびそのポイント	23
5. 飼育動物診療施設向けモダリティ別実勢価格およびトレンド	27
(a) 新品医療機器のモダリティ別実勢価格およびトレンド	27
(b) 中古医療機器のモダリティ別実勢価格およびトレンド	30
6. 新品医療機器の動物用および人用のモダリティ別マーケット規模推移	33
(a) 新品医療機器の動物用モダリティ別マーケット規模推移	33
(b) 新品医療機器の人用モダリティ別マーケット規模推移	35
7. 中古医療機器の動物用および人用のモダリティ別マーケット規模推移	41
(a) 中古医療機器の動物用モダリティ別マーケット規模推移	41
(b) 中古医療機器の人用モダリティ別マーケット規模推移	43